



FIDIC Newsletter March 2013 抄訳

訳責: 国際活動委員会 CB 分科会

この抄訳は若手メンバーの翻訳を分科会で監修したものです。

1 Global Representation 世界の協会活動

1-1 アジア地域が災害専門知識を共有

ASPAC/FIDIC/TCDPAP 会議が 2013 年 3 月 7~8 日にバンコクで開催された。

その地域の 15 か国から約 250 人の参加者が気候変動の事象や他の自然災害によって発生した難局に関する経験および事例研究を共有した。洪水、津波、地震および他の災害の頻度増加により、多くの当局が危険エリアの削減、および災害への対処のためのより正確な手順を検証し開発することが求められている。



コンサルティングエンジニアは、持続可能なライフ・サイクル・アプローチを用いて、災害直後および長期の再生計画に関する安全と復旧の問題に関する専門的なアドバイスを関係当局に提供するだけでなく、より深くリスクアセスメントに関与する機会があることが確認された。

加盟国の報告書ではアジア地区のほとんどの経済が依然として高い伸びを示し、インフラへの著しい投資が計画されるという事実を強調していた。懸念されることとしては、多国籍のみならず地元のコンサルティング会社に多くの仕事の機会を与えたり、新しい取り組みをしてきた熟練専門家が非常に近い将来に不足することが挙げられていた。報告書とプレゼンテーションは FIDIC ウェブサイトで入手可能である。

1-2 世界銀行と IDB への訪問が発表される

FIDIC 会長 Geoff French、次期会長 Elect Pablo Bueno、専務理事 Enrico Vink は、2013 年 4 月 23、24 日にそれぞれ世界銀行と米州開発銀行を訪問する予定である。毎年の相互訪問は、気候変動、汚職および持続性に対処する調達政策、調達手続、開発計画の資金調達に関する金融危機の影響のような共通の案件について議論するだけでなく、両機関にとって重要な優先事項をアップデートする理想的な手段と見なされている。FIDIC 会員協会は、確実に広範囲にわたる議論となる議題に貢献し、また、市場における個別の問題についてもう一度取り上げて議論するために招待されている。

1-3 持続可能なインフラを推進する GAMA 会議

2013 年 4 月 7 日から 10 日の間、スーダンのカーツームで初めて開催される FIDIC アフリカ地域会員協会連合会議 (GAMA 会議) の最終準備が進行中である。

今年の会議では、アフリカの会社が担う重要な役割や、インフラネットワークの開発に対するコンサルティングエンジニアによる持続可能性の視点からの提案について、代表団が



議論を交わす予定である。

スーダンの広大さと自然環境・社会環境の多様性が、この会議をアフリカにおける持続可能なインフラ開発への取り組みの最も優れた実例の一つにする。詳細については、GAMA2013 会議のウェブサイトへ。

FIDIC は、FIDIC 会長の Geoff French、理事会員の Exaud Mushi、専務理事の Enrico Vink が代表を務める。GAMA 会議に続いて、FIDIC 契約約款ワークショップが開催される。

1-4 FIDIC に支援されるリビア再建

インフラ計画がリビアの革命に阻まれた後、国を再建しようとリビアは最大限の取り組みをしている。

コンサルティングエンジニア主導の民間会社は、国家レベルでの上記の取り組みを支援する関連図書一式として FIDIC 契約約款を推奨している。

リビアでは、2013 年 4 月 24 日に、リビアのローカルパートナーである Tasyeer の参加を得て、2 回目の FIDIC 会議が開催される。

詳細は FIDIC ウェブサイトに記載されている。



1-5 理事からのお知らせ

2013 年 1 月に開かれた FIDIC 理事会において、以下の事項が合意された

1. 2013 年に FIDIC 理事会で 3 名の欠員が出ることに對して指名候補を 2013 年 5 月まで募集することを公表する。FIDIC 理事会では、原則として、コンサルティングエンジニア(CE)業界は FIDIC 会員がいる全ての地域からの直接代表制を維持するべきであることが言及された。次期 FIDIC 副会長として韓国の Jae-Wan Lee 氏の指名が発表された。
2. アフリカ、アジア、南アフリカ、ヨーロッパで設立された地域グループを活用したより組織的アプローチを通して市場とのつながりを強化する。今後、これらのグループのより密接な統合が予測され、FIDIC の資源は地域活動支援に割り当てられる。新たな会員増加運動は、能力開発イニシアチブ同様、戦略やニュースレターでも概説したいくつかの項目を形成するであろう。地域会議への支援や若手専門職プログラムについても追加支援を行なう。
3. 顧客へ提供されるサービスの強化に関して、CE 業界の活用にあ資する追加文書やガイドラインの作成を行う FIDIC 委員会の作業計画を支援する。主な活動としてビジネス実務と革新、整合性、持続可能性、契約図書、能力開発、若手専門職に対して重点的に取り組む。



1-6 アフリカにおける FIDIC の拡大 - FIDIC 地域事務所の開設

2013 年 1 月、ダルエスサラームに FIDIC 地域事務所が開所し、FIDIC の地域戦略がアフリカで確立しつつある。FIDIC アフリカ地域会員協会連合の支援の中で、新しく任命された FIDIC 地域代表 Samuel Mwamsamali 氏は、2013 年 4 月以降 FIDIC の存在を広く知らしめ、活動を広げていくであろう。



2 Contracts and Publications 契約と刊行物

2-1 FIDIC の刊行物を iPad で

お気に入りのツールとして iPad を使用している人は、FIDIC ブックショップにて全ての FIDIC 電子書籍の iPad 版を直接手に入れることができる。ハードコピーと同じ価格で、規制がかけられている PDF データもダウンロードできる。これらの書類は、eBook アプリがあればどこでも iPad やブラウザで読むことができる。iPad タブレット版の最新の情報は、FIDIC ウェブサイトで確認できる。



2-2 紛争裁定委員会の決定事項の実施 注意書き

FIDIC 契約約款委員会や専門アドバイザーは、契約条件書 1999 年 (Red Book 1999、Yellow Book 1999、Silver Book 1999 3 種) のユーザーに対して専門のガイダンスノートを準備した。拘束力を有するものの最終決定ではない DAB の決定事項の実施について、当該アドバイスは、FIDIC の意図を明確にするために作られたものである。このガイダンスメモは、現在、1999 年建設契約条件書に含まれている。ユーザーが、この改訂情報を得るためには、FIDIC のウェブサイトから書類をダウンロードされたい。(<http://fidic.org/node/1615>)

2-3 FIDIC 契約約款におけるアラビア語の翻訳について

FIDIC のアラビア語の翻訳グループは、簡易工事の契約約款条件書 1999 年 (Green Book 1999) や発注者 - コンサルタン間の標準サービス契約書 (White Book) の更新を終わらせたばかりである。国際的に活用されるためには、まだまだ特別な配慮が必要である。この本は、FIDIC Book Shop で入手可能。

2-4 FIDIC による都市再考に関する報告の展開

FIDIC 持続可能な開発に関する委員会は、持続性ツールの都市版に取り組んでいる。「都市再考」は、持続可能な社会インフラを計画する際には、民間部門及び公共部門に対して意欲的に補助ツールを提案する。この重要な産業ツールは、2013 年 9 月の FIDIC 会議百年祭において参加者に配布される予定である。



2-5 東ティモールにおける ILO の FIDIC 簡易契約書の推奨

東ティモールの再興のための主要な援助機関である ILO (国際労働機関) は、国を再興するための望ましい契約形態として、FIDIC 簡易契約書による契約を 3 年間加えることを決定した。この簡易契約書はインドネシアで用いられている既存戦略に基づいており、インドネシアでは国の産業を支える参照モデルとして FIDIC 簡易契約書のインドネシア語翻訳版を導入することに成功した。



3 訓練と能力開発

3-1 FIDIC YPMT 2013 Programme

25 の国々から集まった過去最大の 83 名の候補者が今年の FIDIC Management Training Programme for Young Professionals に申し込んだ。3 名分の奨学生枠が開発途上国からの候補者たちに用意された。このコースは、7 ヶ月間、オンライン



で行われた後、バルセロナで開かれる FIDIC100 周年会議でのいくつかの最終討論において最終日を迎える。このコースは、コンサルティング・エンジニアリング業界ビジネスに関連したマネジメントの課題に焦点を当てながら、コンサルタント会社の経営、理論と実際のケーススタディとの融合のみならず、地域による微妙な違いなどの核となる側面について将来のリーダーたちに学んでもらうことを目的としている。

3-2 ドバイにおける FIDC 契約約款ユーザーズ会議 2013

2013 年中東 FIDIC 契約約款ユーザーズ会議がドバイで初めて開催された。この会議には約 20 カ国から 100 名の出席者と発表者が参加した。FIDIC 委員会メンバーと専門家から最新の FIDIC 契約約款に関する説明が行われた。

透明性のある管理を通じて、贈収賄といかに戦っていくかについてのパネルディスカッションは聴講者にうまく受け入れられた。

3-3 マレーシアにおける FIDIC/IBC 契約約款ユーザーズ会議 2013 年 6 月

次回の FIDIC 契約約款アジア太平洋ユーザーズ会議は、2013 年 6 月 11 日～12 日にクアラルンプールにて開催される。この会議は、一連の FIDIC 契約約款のユーザーが、FIDIC 契約約款をよりよく理解して、正しく使用し、そして有効に紛争を回避または解決するために、非常に重要な行事である。この会議では、よく知られた発表者たちが顔を連ね、FIDIC 契約約款の各地域別の利用について、特に焦点を当てることになっている全ての情報は FIDIC の Web サイトに掲載される。



3-4 パリにおける FIDIC/ICC 国際建設契約約款および紛争解決に関する会議 2013 年 6 月

次回の FIDIC/ICC 国際建設契約約款および紛争解決に関する会議は、2013 年 6 月 25 日～26 日にパリにて開催される。国際的な建設業務の紛争解決に関して、国際的な商業紛争解決の専門家がパリに集結する。



この 2 日間の会議は、FIDIC 契約の専門家によって行われる、契約に関わる異なる契約的戦略に関する意見や FIDIC 契約約款集に(それらが)どのように記述されるかを知る最良の機会である。また、この会議は、建設問題における紛争解決や国際商業会議所 (ICC) による仲裁についての最新情報を得る機会である。さらに大事なこととして、紛争委員会メンバーに対して高まっている法に関する研修の必要性に関する最新情報を入手する最良の機会でもある。全ての情報は FIDIC の Web サイトに掲載される。

3-5 FIDIC トレーニングの拡大続く

オンライン FIDIC トレーニング開始！

FIDIC オンライン契約コースが積極的に市場に受け入れられ始めた。オンラインや対話型での議論を管理するのに利用される Podio(企業向け Facebook)の基盤システムで、効率よくかつ信頼できるものとして証明されたのである。当該コースのこれまでの成果により、FIDIC は近い将来、より多くのオンライントレーニングコースを設置する計画を立てている。なお、新設するコースのお知らせは 2013 年のイベント欄を参照のこと。

2013 年上半年期において約 40 のイベントが、FIDIC 協会やアフリカ、中東諸国、西ヨーロッパ、中東ヨーロッパ、アジア、南アメリカのいくつかの地域の地元協力者により目下計画されている(詳細は FIDIC のウェブサイトにて閲覧のこと)。市場の需要により合わせていくために、FIDIC はトレーニングコースを英語以外の言語に拡げ

て提供していく。なお、ドイツ語、フランス語、アラビア語、ポルトガル語のコースが 2013 年に新設される。

3 年目において、FIDIC-KENCA トレーニングプログラムが 2013 年 4 月から 8 月にかけて計画されている。この中で、「10. FIDIC の 2 日間契約コース」と「6. 実務に関する話題を対象とした 2 日間のコース」が実施される。FIDIC 公認の 3 人の韓国人トレーナーにより、初めてこのビジネス実践プログラムの一部が動き始める。

モルドヴァ協会 (ARMIC) は最初のトレーニングコースを組織し、国内で FIDIC に関する知識をうまく広めた。当協会は、現在 FIDIC メンバーになろうと申請しているところである。



3-6 持続可能な建築物 - 地域会議 2013 年

持続可能な建築物に関する最新版に興味を持った有志一同にとって、本年度の当該会議シリーズは見逃されるものではない。FIDIC としては、利害関係者に 2013 年の地域イベント・リストをチェックすることをオススメする。



3-7 FIDIC オンラインセミナー調査 (YP ニーズの調査について)

FIDIC 若手技術者フォーラム運営委員会 (YPFSC) では、試験的にオンラインセミナープログラムを発信中で、受信者の意見を望んでいる！

国際的に知識の交換や能力の形成を強化することを目的とした新規の FIDIC オンラインセミナーの開発を援助するために、YPFSC は世界中の専門家かつ経験豊富なスピーカーと協働している。読者がちょっとの間オンライン上で参加してくればこの調査は完成するのでぜひ！

この YP イニシアチブと短時間の調査への参加はオンラインにて。

4. Centenary Conference 100 周年記念大会

4-1 FIDIC100 周年記念バルセロナ大会への強い関心

FIDIC100 周年記念バルセロナ大会の登録が開始された！早くから多数の登録が殺到したため、FIDIC は 2013 年 5 月 13 日までの登録受付延長を決定した。予約申込特典は 2013 年 5 月 13 日まで有効であり、大会ウェブサイトで申込みが可能である。



講演者は各産業を代表する方々が揃っている。KPMF、Ramboll、Stanley Consultants、Transparency International、UNEP、Engineers Without Borders、Union Internationale des Architectes といった企業が参加しており、特別な社交行事の開催が予定されている。そのうちの 1 つが、Poble Espanyol de Barcelona で開催される "The Local Colour Night" である。伝統的なスペイン料理を堪能した後は、スペインの様々な地域をこの場所にて経験できるであろう。参加希望者は、大会のウェブサイトに参加登録をした後、"Poble Espanyol" にてイベント参加予約が可能である。

4-2 FIDIC100 周年記念賞に関する最新情報

FIDIC100 周年記念賞とは、FIDIC の創立 100 周年を記念するものである。FIDIC は、特筆すべき変革をもたらした過去 100 年におけるエンジニアリングもしくはコンサルティング手法の大きな発展を強く認識しており、資源やデザインが社会的な生活の質の向上に用いられている。

これまで、産業に関する幅広い専門知識を駆使して一人の審査員が選定を行ってきたが、今後は特別客員審査員のサポートを受けた審査となり、際立った功績を残したと判断される全てのプロジェクトが 100 周年記念賞を受賞する。

FIDIC100 周年記念バルセロナ大会では、100 周年記念賞候補一覧の発表が 2013 年 9 月 17 日に行われる予定である。

最終的な受賞数は審査員の公正な判断に委ねられ、際立った功績を残した全てのプロジェクトが FIDIC100 周年記念賞を受賞する。

